



ピアノはどうして音が出るの

ハンマーでピアノ線をたたいて、音を出す

ピアノをひくときには、ピアノのけんばんをたたいて、音を出しています。ピアノのけんばんをたたくと、けんばんにつながっている、ハンマー（つち）が動いて、それぞれのピアノ線（げん）をたたきます。すると、ピアノ線がふるえて音が出ます。

ピアノ線は、針金のような、はがねの線で、ピアノのけんばんの数だけ、張られています。ピアノ線の長さや太さは、それぞれちがっていて、この長さや太さのちがいで、音の高さが変わります。

音を大きくするために、まわりをかこんである

ハンマーで、ピアノ線をたたくだけでは、大きな音は出ません。大きな音を出すためにピアノのまわりを、木で箱のようにかこみ、その中の空気をふるわせて、音を大きくしています。

音の出るしくみは、グランドピアノも、縦型のアップライトピアノも同じです。ピアノ線が横に張ってあるか、縦に張ってあるかのちがいと、音のひびき方がちがうだけです。

（監修・青木 国夫）

グランドピアノで音が出るしくみ

